



第3回 現代人の語彙に関する調査

調査結果データ

0.はじめに

1-1.調査概要

1-2.調査についての補足

2.調査結果

2-1. 【語彙力】属性別 語彙全体

2-2. 【語彙力】属性別 新語

2-3. 【語彙力】属性別 辞書語彙 語種別

2-4. 【語彙力】属性別 新聞語彙 分野別

2-5. 【TOPICS】①世代別比較 辞書語彙

2-6. 【TOPICS】②世代別比較 新聞語彙

2-7. 【TOPICS】③世代別比較 高校生vs親世代 辞書語彙

2-8. 【TOPICS】③世代別比較 高校生vs親世代 新聞語彙

2-9. 【TOPICS】④労働に関する語彙

2-10. 話す・聞く・書くときの意識と語彙力

2-11. 学校で長い文章を書く機会と語彙力

2-12. 学校での「書く」指導と語彙力

2-13. 語彙力と目的や相手、場面に応じて言い換える力

情報を正しく理解し、自分の考えをわかりやすく伝えるコミュニケーション力の必要性がますます高まり、そのベースとなる語彙力の重要性が増しています。

そこで『語彙・読解力検定*』『Literas 論理言語力検定*』を主催する株式会社ベネッセコーポレーション(株式会社ベネッセホールディングスの子会社。本社:岡山市)は、グループ内シンクタンク「ベネッセ教育総合研究所」の協力のもと、2018年7月に、全国の高校生から社会人3,028名を対象に「第3回 現代人の語彙に関する調査」(略称:語彙調査)を実施しました。

本調査は、『語彙・読解力検定』の「辞書語彙*」「新聞語彙*」の2領域から厳選した440語の「熟知度*」を調べ、現代を生きる人々の言語活動の実態、およびその年代・生活・行動などによる「語彙力*」の違いを明らかにすることで、現代人に必要な言葉の力を高める方法を検討することを目的としています。

*は、5ページの「調査についての補足」をご参照ください。

1-1. 調査概要

名称	第2回 現代人の語彙に関する調査（略称：語彙調査）	調査テーマ	年代、生活、行動と語彙力の関連性を明らかにする調査																																																																					
調査時期	2018年7月	調査方法	インターネット調査（専用ページにて回答入力）																																																																					
調査対象	<p>全3,028名</p> <p>※「高校生」については該当の子どもがいる保護者モニターを通しての回答 ※男女、高校生・大学生の各学年、社会人(10代刻み)で均等人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">属性</th> <th>有効回答者数</th> <th colspan="2">属性合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">高校生</td> <td rowspan="3">男子</td> <td>1年生</td> <td>154</td> <td rowspan="6">968</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女子</td> <td>1年生</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">大学生</td> <td rowspan="4">男性</td> <td>1年生</td> <td>130</td> <td rowspan="8">1,030</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>1年生</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">社会人 (20~30代)</td> <td rowspan="2">男性</td> <td>20代</td> <td>127</td> <td rowspan="4">510</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">女性</td> <td>20代</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">社会人 (40~60代)</td> <td rowspan="3">男性</td> <td>40代</td> <td>86</td> <td rowspan="6">520</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>40代</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>			属性		有効回答者数	属性合計		高校生	男子	1年生	154	968	2年生	165	3年生	163	女子	1年生	164	2年生	173	3年生	149	大学生	男性	1年生	130	1,030	2年生	129	3年生	129	4年生	127	女性	1年生	128	2年生	129	3年生	129	4年生	129	社会人 (20~30代)	男性	20代	127	510	30代	130	女性	20代	125	30代	128	社会人 (40~60代)	男性	40代	86	520	50代	86	60代	88	女性	40代	85	50代	88	60代	87
	属性		有効回答者数	属性合計																																																																				
	高校生	男子	1年生	154	968																																																																			
			2年生	165																																																																				
			3年生	163																																																																				
		女子	1年生	164																																																																				
			2年生	173																																																																				
			3年生	149																																																																				
	大学生	男性	1年生	130	1,030																																																																			
			2年生	129																																																																				
3年生			129																																																																					
4年生			127																																																																					
女性		1年生	128																																																																					
		2年生	129																																																																					
		3年生	129																																																																					
		4年生	129																																																																					
社会人 (20~30代)	男性	20代	127	510																																																																				
		30代	130																																																																					
	女性	20代	125																																																																					
		30代	128																																																																					
社会人 (40~60代)	男性	40代	86	520																																																																				
		50代	86																																																																					
		60代	88																																																																					
	女性	40代	85																																																																					
		50代	88																																																																					
		60代	87																																																																					
調査項目	<p>◆ 語彙440語の熟知度 辞書語彙：220語 新聞語彙：220語 合計：440語</p> <p>◆ 相手や目的・場面に合わせて適切に語を言い換える問題：28問</p> <p>◆ 属性に関する項目：「話す」「聞く」「書く」ときに意識していること・姿勢、言葉への関心、長い文章を書く頻度、学校で「書くこと」について指導を受けた経験（高校生・大学生）、SNSの活用状況、読書の状況、読む本のジャンル など</p>																																																																							

■『語彙・読解力検定』

ベネッセコーポレーションと朝日新聞社の主催で、2011年の開始以来、累計約40万人が受検している検定です（2018年10月時点）。2019年度からは、ベネッセコーポレーション主催の『Literas 論理言語力検定』（<https://literas.benesse.ne.jp/>）として、『語彙・読解力検定』の価値を引き継いでいきます。

■調査対象語について

- ・語の難度・分野・語種のバランスを考慮して、「辞書語彙」「新聞語彙」各220語ずつを選定。
- ・「辞書語彙」「新聞語彙」は『語彙・読解力検定』の出題領域に合わせて分類した。

辞書語彙：主に国語辞典に掲載されている、文章や会話を理解し、的確に表現するために必要な語彙。

新聞語彙：新聞に掲載されることの多い、社会生活に必要な基礎知識や時事知識に関する語彙。

※辞書語彙の「新語」については、『語彙・読解力検定』の分類によらず、SNS・インターネットなどから近年使われるようになった新しい語や新しい用法を収集し、選定した。

■調査方法について

今回の調査では、「語彙力」「熟知度」を測るにあたり、2段階評定尺度法を用いた。

- ・各語彙について、意味を「知っている」「知らない」の2段階評定尺度法で回答を得た。
- ・一部の語について、正しい意味を選択肢5つから選ばせる多肢選択型設問も設け、2段階評定尺度法の精度を確認した。

■調査結果の集計・分析について

今回の調査では、回答結果をもとに、以下のように集計・分析を行った。

①回答者の「語彙力」

各回答者が、自身が回答した調査対象語のうち、「知っている」と答えた語の割合（各回答者が「知っている」と答えた語の数／回答した語の数×100（%））。例えば「高校生の語彙力」といった場合、高校生の回答者の「語彙力」の平均を指す。

②語の「熟知度」

調査対象の各語について、「知っている」と回答した回答者の割合。

（各語彙について「知っている」と答えた人の数／回答者数×100（%））

2. 調査結果

【調査結果速報から】

語彙の熟知度には世代によって特徴があります。親世代である社会人は偏りなく幅広い分野の語彙力が高いのに対し、若い世代はいわゆる「新語」や新しい社会課題に関する語の熟知度が高く、社会人を上回ることがわかりました。一方で、第1回調査と今回の結果を比べると、SNS中心に使われる「新語」の親世代の熟知度が上がっており、若い世代を起点とした語彙が間をおいて上の世代にも広がっているといえそうです。今回、「インスタ映え」が最も熟知度が高かったことは象徴的です。

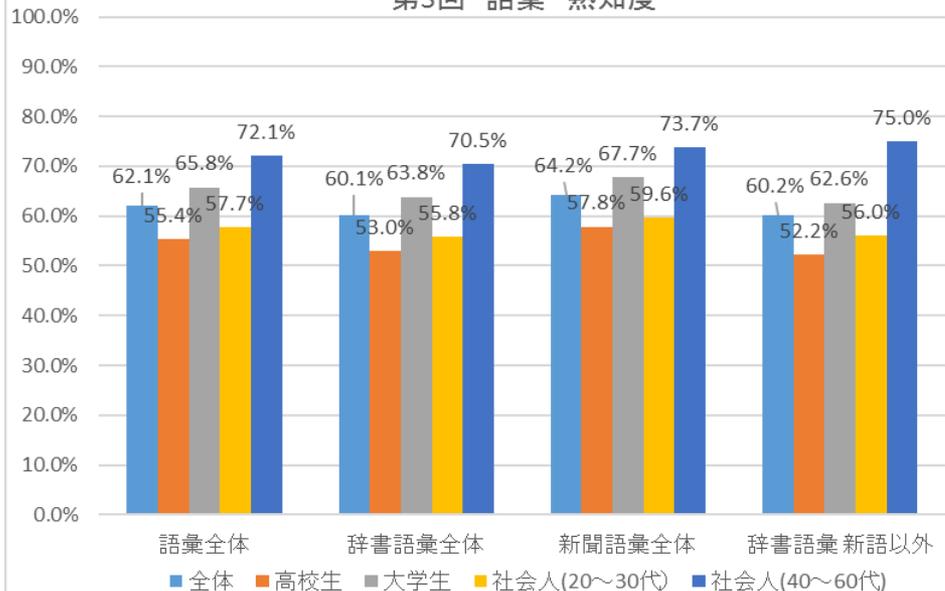
また、「話す」「聞く」「書く」というコミュニケーションの各場面で意識していることと「語彙力」との関連では、特に「書く」場面での意識のあり方と語彙力との関係が強いという傾向が見られました。協働して課題を解決する力の前提として、思いや考えを伝えあう力の重要性は今後ますます高まると考えられますが、コミュニケーションとは一方通行のものではなく、相手に伝わって初めて成立するものです。「相手に伝わるように」という意識をもってコミュニケーションに努めることが「語彙力」を高めることにもつながり、ひいては、これからの社会で生きる力につながっていくのではないのでしょうか。

今後、調査結果についての考察を深めていくとともに、『語彙・読解力検定』『Literas論理言語力検定』を通じて、広く語彙力を身につける大切さを伝えていきたいと考えています。

以下、主な調査結果を掲載します。

2-1. 【語彙力】 属性別 語彙全体

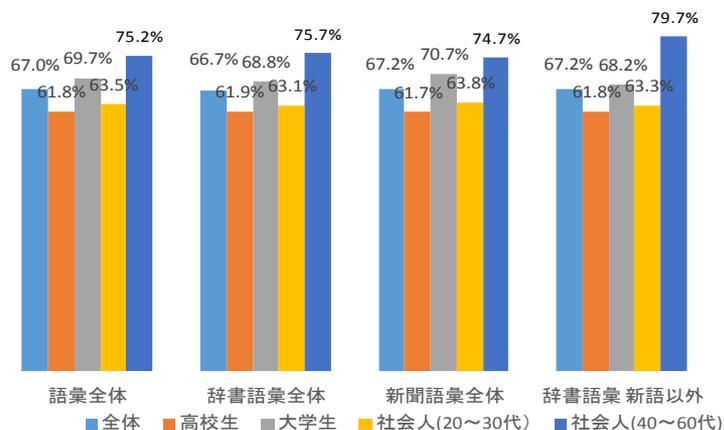
第3回 語彙 熟知度



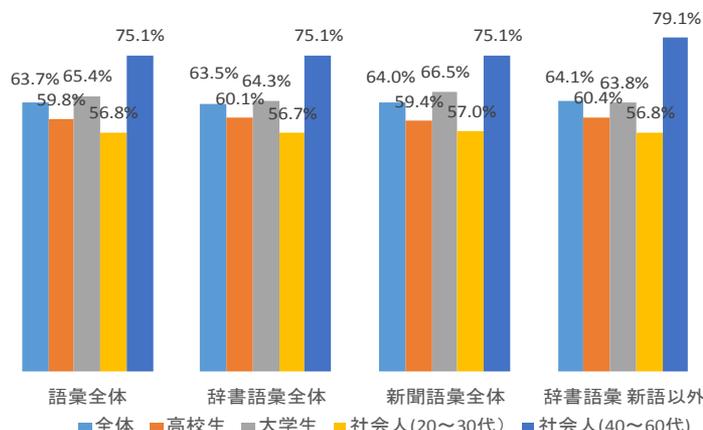
■ 語彙全体・辞書語彙全体・新聞語彙全体のすべてで、

- ① 社会人(40~60代)
 - ② 大学生
 - ③ 社会人(20~30代)
 - ④ 高校生
- という結果となった。

参考: 語彙 熟知度(第1回)

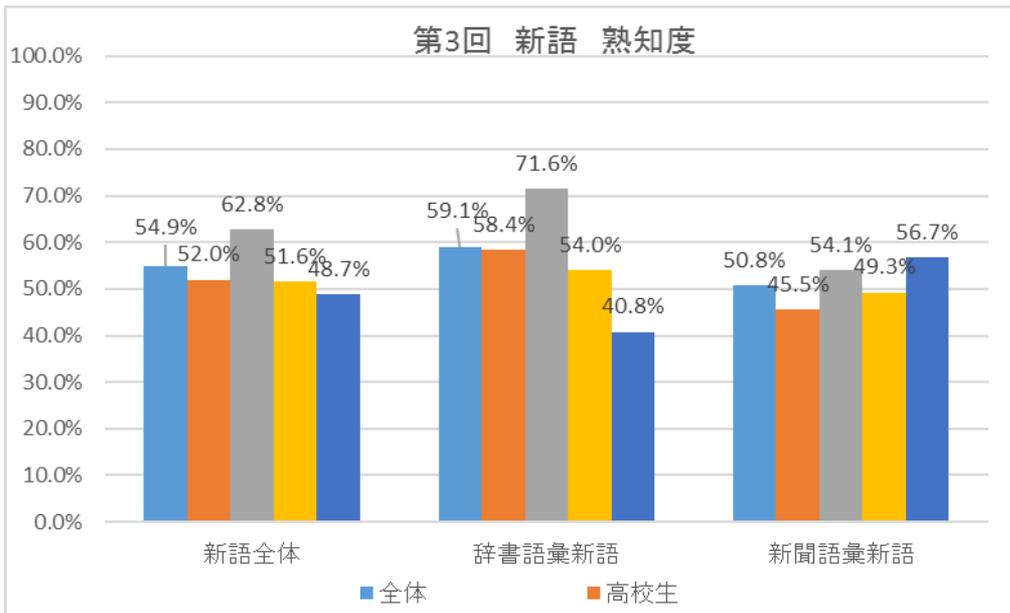


語彙 熟知度(第2回)

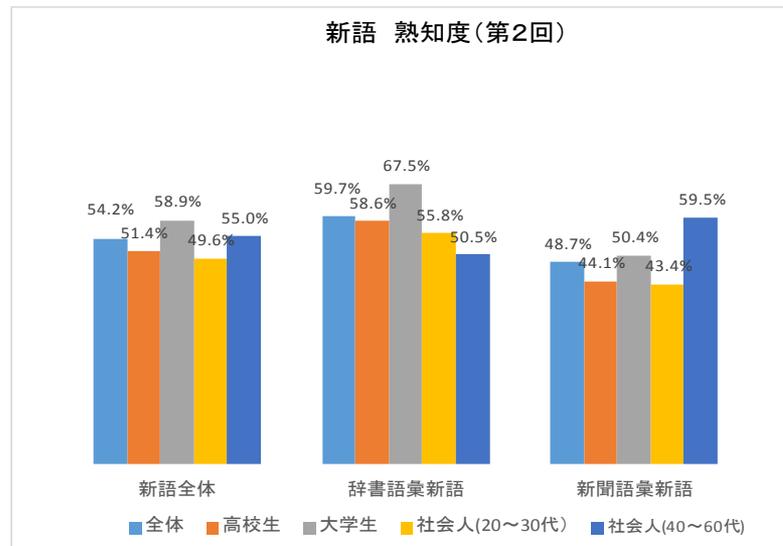
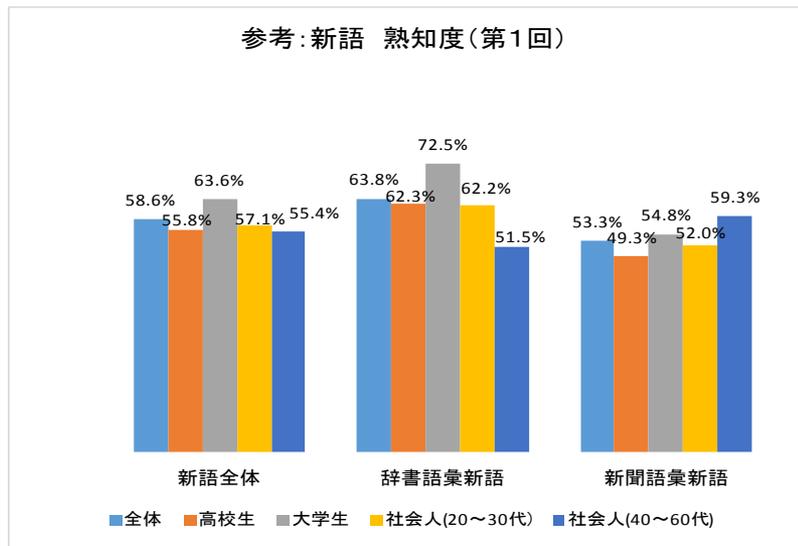


※数値は語彙の熟知度(%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-2. 【語彙力】 属性別 新語

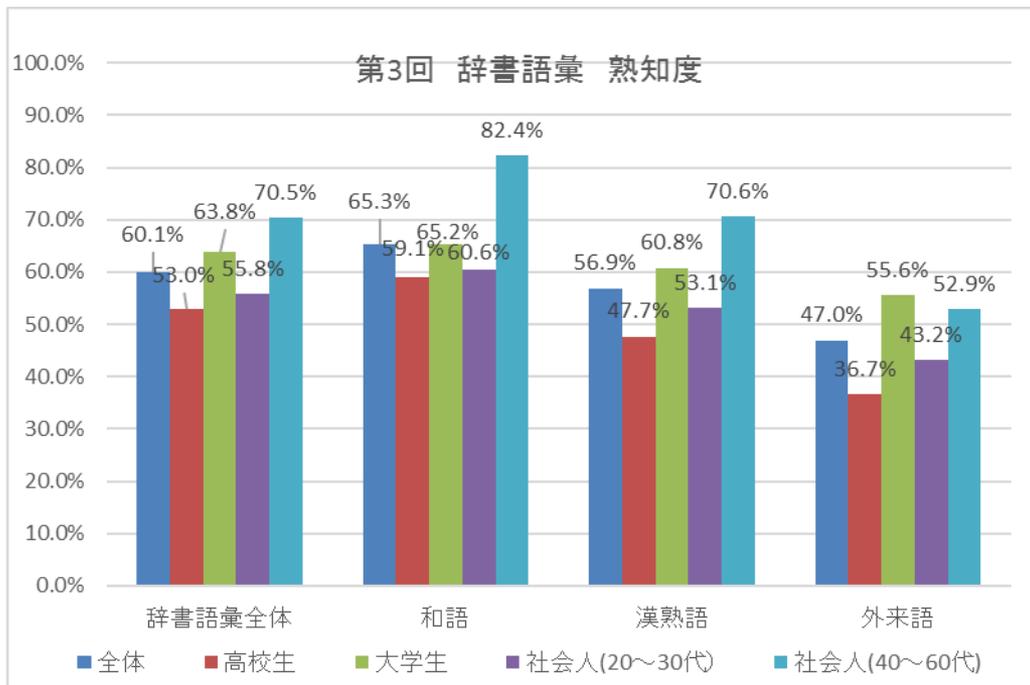


- 「新語全体」では大学生の熟知度が高く、次いで高校生、社会人(20～30代)がほぼ同レベルとなっている。
- 「辞書語彙の新語」は、大学生 > 高校生 > 社会人(20～30代) > 社会人(40～60代) の順。第1回から傾向は変わらず。
- 「新聞語彙の新語」は、語彙全体と同様、社会人(40～60代) > 大学生 > 社会人(20～30代) > 高校生 の順。



※数値は語彙の熟知度 (%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

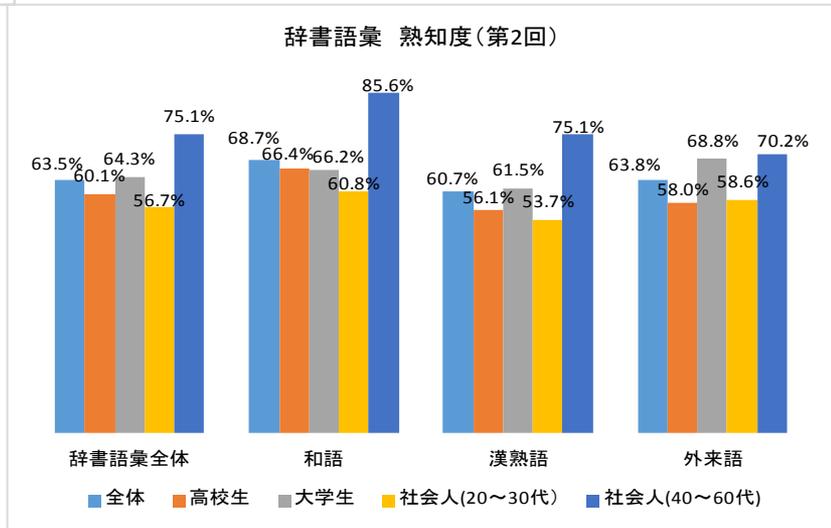
2-3. 【語彙力】 属性別 辞書語彙 語種別



- 「和語」は、社会人(40~60代)が突出して高く、次いで大学生、そのあとに社会人(20~30代)と高校生はほぼ同レベルで続いている。
- 「漢熟語」は社会人(40~60代) > 大学生 > 社会人(20~30代) > 高校生。
- 「外来語」は、大学生がもっとも高く、次いで社会人(40~60代)、社会人(20~30代)、高校生が続く。どの語種でも、社会人(40~60代)が全体平均を大きく上回っている。

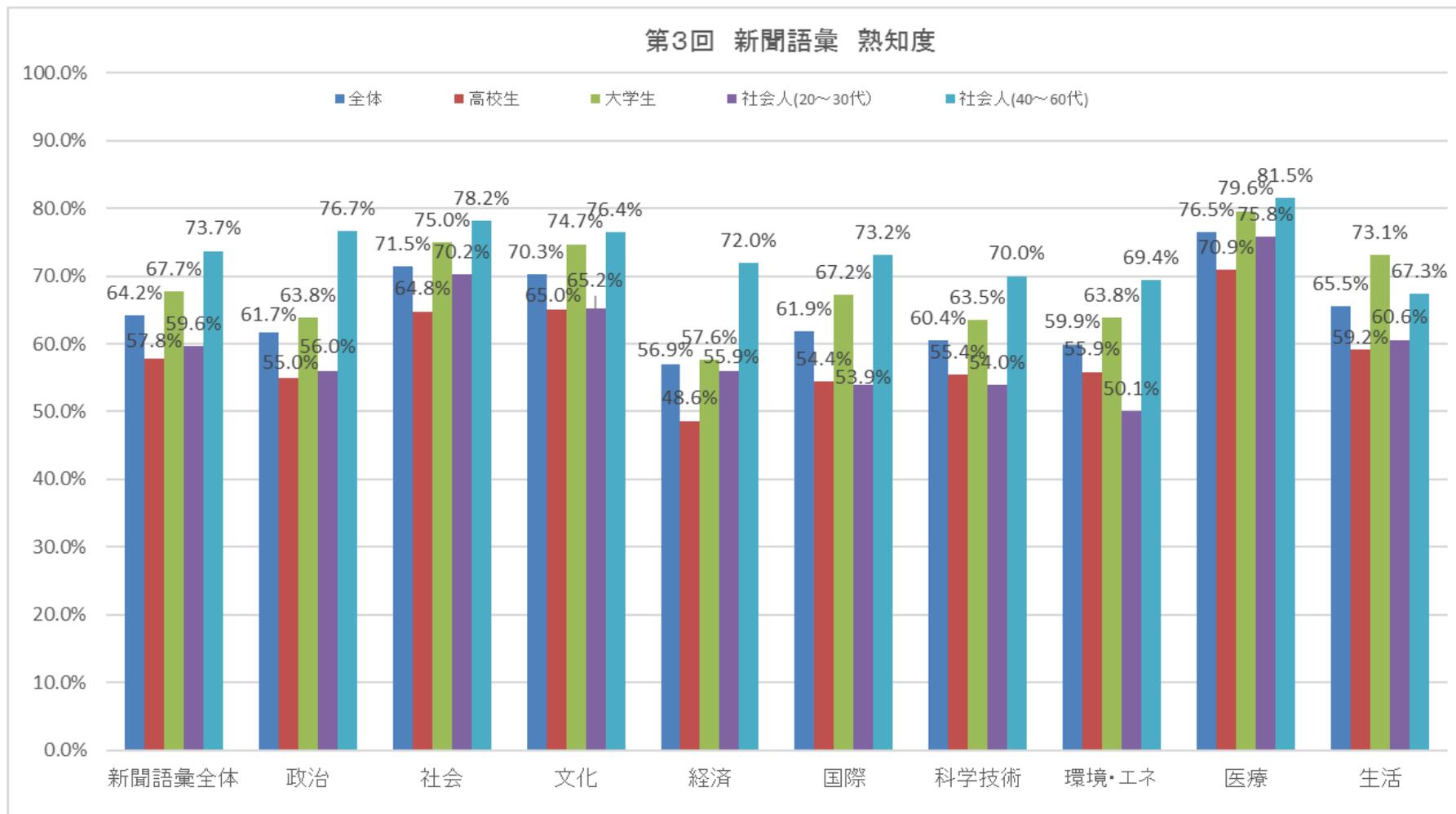
※数値は語彙の熟知度(%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

★第2回調査では、外来語も含め全語種で社会人(40~60代)が最も高かった。



2-4. 【語彙力】 属性別 新聞語彙 分野別

- 「生活」以外の全ての分野で社会人(40～60代)が最も高く、次いで大学生という結果。社会人(40～60代)は全分野でほぼ70%を超えており、特に「政治」「経済」「国際」で全体平均を10%以上上回った。
- 高校生と社会人(20～30代)では、「国際」「科学技術」「環境・エネルギー」で高校生が社会人(20～30代)を上回った。「医療」は比較的属性間のばらつきが小さく、正答率が高めとなっている。



2-5. 【TOPICS】 ①世代別比較 辞書語彙

■高校生・大学生・社会人（20・30代）のTOPが「インスタ映え」。社会人（40～60代）でも2位と非常に熟知度が高い（実際にインスタグラムを使っている人は20%未満）。高校生の上位語は新語が多く、下位語は「蓋然性」「趨勢」「督励」「拘泥」「譴責」「帰趨」など漢熟語が多い。逆に社会人（40～60代）では、下位語は全て新語だった。

辞書語彙ベスト10

高校生	大学生	社会人(20代・30代)	社会人(40代～60代)
Q29【インスタ映え】	Q29【インスタ映え】	Q29【インスタ映え】	Q34【意固地(いこじ)】
96.5	99.0	95.2	99.0
Q35【ディスる】	Q35【ディスる】	Q28【茨(いばら)の道】	Q29【インスタ映え】
93.3	97.1	93.3	98.1
Q31【神〇〇 (例:神アプリ)】	Q28【ことごとく】	Q28【あたかも】	Q28【茨(いばら)の道】
92.8	96.0	92.3	97.1
Q28【匹敵する】	Q30【主観的】	Q30【主観的】	Q28【匹敵する】
92.0	95.2	92.2	97.1
Q28【茨(いばら)の道】	Q28【あたかも】	Q26【故意】	Q26【仲裁】
89.9	94.6	91.3	97.1
Q26【仲裁】	Q26【故意】	Q31【終活】	Q34【お茶をにごす】
89.5	94.2	91.2	97.1
Q28【ことごとく】	Q28【匹敵する】	Q34【無謀】	Q28【ことごとく】
88.9	94.1	91.1	96.2
Q26【故意】	Q27【ワンチャン】	Q28【あざとい】	Q28【あたかも】
88.5	93.7	90.4	96.2
Q28【硬直】	Q31【神〇〇 (例:神アプリ)】	Q28【匹敵する】	Q28【おどける】
88.4	93.7	89.4	96.2
Q35【敷居が高い】	Q33【イミフ】	Q28【硬直】	Q26【故意】
87.2	93.7	89.4	96.2
			Q34【破れかぶれ】
			96.2

辞書語彙ワースト10

高校生	大学生	社会人(20代・30代)	社会人(40代～60代)
Q25【蓋然性(がいぜんせい)】	Q35【譴責(けんせき)】	Q27【絶起】	Q29【やばたにえん】
10.2	9.7	10.7	7.6
Q25【趨勢(すうせい)】	Q32【出色】	Q31【エア買い】	Q33【ふあぼ】
11.4	11.6	13.7	7.7
Q35【督励】	Q35【督励】	Q35【督励】	Q35【リムる】
12.3	12.1	13.9	10.6
Q25【拘泥(こうでい)】	Q31【エア買い】	Q35【譴責(けんせき)】	Q29【グルチャ】
13.5	14.5	14.9	12.4
Q35【譴責(けんせき)】	Q34【俎上(そじょう)に載せる】	Q32【出色】	Q35【バ先】
13.8	18.8	15.0	14.4
Q33【帰趨(きすう)】	Q34【うらぶれる】	Q25【蓋然性(がいぜんせい)】	Q35【あり寄りのあり】
14.3	19.3	15.9	17.3
Q32【アナーキズム】	Q32【老獯(ろうかい)】	Q25【拘泥(こうでい)】	Q27【絶起】
14.8	19.8	16.3	18.3
Q34【俎上(そじょう)に載せる】	Q26【すげない】	Q25【趨勢(すうせい)】	Q31【エア買い】
14.9	21.3	18.0	19.4
Q32【出色】	Q33【イブ】	Q26【すげない】	Q35【bot】
15.3	21.3	18.4	21.2
Q31【搦(から)め手】	Q32【往還】	Q30【胸算用】	Q33【わず】
16.0	22.2	18.6	22.1

※数値は語彙の熟知度(%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-6. 【TOPICS】 ②世代別比較 新聞語彙

■「SNS」が大学生・社会人（20～30代）では最も高く、高校生でも3位。社会人（40～60代）では順位は23位だが93.3%と高い熟知度に。世代を問わず、SNSの浸透ぶりがうかがえる。教育現場や企業活動の場でも広がりつつある「SDGs」については、どの属性でもまだ熟知度が低い状況が見られた。全属性、下位語はほぼカタカナや横文字の言葉で、世代による大きな傾向の違いはみられない。

新聞語彙ベスト10

高校生	大学生	社会人(20代・30代)	社会人(40代～60代)
Q42【糖尿病】 96.4	Q37【SNS】 97.6	Q37【SNS】 99.0	Q41【天下り】 100.0
Q42【PM2.5】 95.9	Q38【シェアハウス】 97.6	Q42【糖尿病】 95.1	Q45【福利厚生】 99.0
Q37【SNS】 94.2	Q36【えん罪】 97.2	Q40【待機児童】 94.2	Q37【裁判員裁判】 98.1
Q38【かかりつけ医】 92.7	Q36【生活習慣病】 97.0	Q38【シェアハウス】 94.2	Q42【ジェネリック医薬品】 98.1
Q43【核家族】 92.1	Q40【メタボリックシンドローム】 95.5	Q42【ジェネリック医薬品】 93.1	Q39【雇用保険】 97.1
Q44【脳死】 91.5	Q37【冷戦】 95.2	Q36【えん罪】 92.5	Q43【有権者】 97.1
Q36【えん罪】 91.2	Q44【受動喫煙】 95.2	Q36【生活習慣病】 92.0	Q44【脳死】 97.1
Q40【待機児童】 91.0	Q45【グローバル化】 95.2	Q37【裁判員裁判】 91.3	Q40【メタボリックシンドローム】 96.2
Q36【生活習慣病】 90.1	Q42【糖尿病】 94.7	Q38【かかりつけ医】 91.3	Q40【民泊】 96.2
Q38【シェアハウス】 90.1	Q37【裁判員裁判】 94.2	Q42【副流煙】 91.2	Q41【控訴】 96.1

新聞語彙ワースト10

高校生	大学生	社会人(20代・30代)	社会人(40代～60代)
Q45【ステーキホルダー】 12.8	Q38【エシカル消費】 10.1	Q38【エシカル消費】 10.7	Q46【SDGs】 7.7
Q40【ミッシングワーカー】 13.1	Q40【STEM教育】 16.3	Q40【STEM教育】 11.5	Q38【エシカル消費】 11.5
Q38【エシカル消費】 13.6	Q44【コト消費】 16.4	Q46【SDGs】 11.9	Q40【STEM教育】 13.3
Q40【STEM教育】 15.1	Q40【ミッシングワーカー】 18.8	Q40【ミッシングワーカー】 13.5	Q40【ミッシングワーカー】 18.1
Q46【SDGs】 16.4	Q46【SDGs】 19.3	Q38【フードマイレージ】 19.4	Q45【3R】 21.2
Q44【コト消費】 18.0	Q36【FRB】 20.0	Q44【モニタリングポスト】 22.0	Q43【ラノベ】 24.0
Q45【BtoB】 19.0	Q44【モニタリングポスト】 20.3	Q45【プライマリーバランス】 23.8	Q46【グランピング】 26.0
Q40【インバウンド消費】 19.6	Q46【お産難民】 21.3	Q36【FRB】 24.1	Q45【ステーキホルダー】 26.9
Q40【キュレーションサイト】 20.1	Q45【ステーキホルダー】 22.2	Q39【国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)】 25.0	Q45【BtoB】 27.9
Q44【トレーサビリティ】 20.6	Q37【文楽】 23.2	Q44【コト消費】 25.0	Q46【QOL】 27.9

※数値は語彙の熟知度(%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

■高校生と、親世代である社会人（40～60代）とで熟知度の差が大きい語をみると、辞書語彙では「リムる」「イミフ」など仲間内のSNSで使われる「新語」がほとんどである。一方、新聞語彙では「SDGs」「マイクロプラスチック」「#Me too」など新しい社会課題や概念に関する語が多く見られ、若い世代の時代への感度がうかがえる。

高校生の方が親世代よりも知っている語									
順位	辞書語彙	高校生	親世代	差	順位	新聞語彙	高校生	親世代	差
1	リムる	60.5	10.6	49.9	1	ラノベ	44.4	24.0	20.4
2	イミフ	77.2	33.7	43.6	2	3R	37.9	21.2	16.8
3	秒で	67.8	24.8	43.1	3	タイムライン	89.0	75.0	14.0
4	わず	63.5	22.1	41.4	4	コミケ	79.0	66.3	12.6
5	ふぁぼ	48.7	7.7	41.0	5	SDGs	16.4	7.7	8.7
6	りよ	81.5	41.3	40.1	6	グランピング	34.4	26.0	8.4
7	リップ	61.3	26.2	35.1	7	アクティブ・ラーニング	43.8	35.9	7.9
8	グルチャ	46.7	12.4	34.4	8	PM2.5	95.9	89.3	6.6
9	まじ卍	85.1	51.5	33.6	9	メディアリテラシー	38.3	32.1	6.2
10	ワンチャン	79.1	47.1	31.9	10	マイクロプラスチック	44.1	38.5	5.6
11	とりま	64.1	33.7	30.4	11	ネグレクト	72.5	67.3	5.2
12	バ先	42.6	14.4	28.1	12	#Me too	51.3	47.1	4.2
13	bot	48.7	21.2	27.6	13	スマートスピーカー	69.6	66.0	3.6
14	なる早	63.4	35.9	27.5	14	WHO	85.2	82.7	2.5
15	デイスる	93.3	67.3	26.0	15	拡張現実 (AR)	31.3	28.8	2.4

※親世代＝社会人40～60代。

※数値は語彙の熟知度（％）。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

■親世代である社会人（40～60代）のほうが高校生より熟知度が高い語をみると、差が大きい語では漢熟語が目立つ。新聞語彙では経済、国際、社会の語が多い。

順位	辞書語彙	高校生	親世代	差	順位	新聞語彙	高校生	親世代	差
1	しんがり	28.5	76.7	48.2	1	春闘	38.2	90.4	52.2
2	約款	40.0	87.5	47.5	2	金属疲労	40.8	82.7	41.9
3	阿漕（あこぎ）	32.3	74.0	41.8	3	経団連	46.8	87.1	40.3
4	骨子	36.1	77.7	41.6	4	核の傘	29.6	69.5	39.9
5	イデオロギー	26.2	64.4	38.2	5	元本	51.9	91.3	39.5
6	胸算用	35.1	72.8	37.8	6	第3セクター	43.9	81.7	37.8
7	すごい	22.0	59.6	37.6	7	連結決算	28.9	66.0	37.2
8	逐次	31.2	67.6	36.5	8	白票	41.0	76.9	35.9
9	善処	42.4	78.8	36.4	9	全国人民代表大会	36.5	72.1	35.6
10	机上の空論	52.3	88.5	36.2	10	源泉徴収	56.0	91.3	35.3
11	佳境	41.2	77.1	35.9	11	インサイダー取引	54.3	89.5	35.3
12	すべからく	32.5	68.3	35.8	12	活版印刷	46.2	80.8	34.6
13	胸のすく	43.4	78.5	35.1	13	マネーロンダリング	42.3	75.7	33.5
14	憚然（ぶぜん）	49.2	83.7	34.4	14	臨界	44.2	77.1	32.9
15	忌憚（きたん）	26.8	61.2	34.4	15	裁量労働制	37.1	69.9	32.8

※親世代＝社会人40～60代。

※数値は語彙の熟知度（%）。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-9. 【TOPICS】 ④労働に関する語彙

- 労働に関する語を見たところ、「働き方改革」は全体で79.7%と高く、高校生でも72.6%と認知が広がっている。一方で、「裁量労働制」「テレワーク」など具体的な内容については全体で50.2%、44.3%にとどまった。
- 大学生の熟知度が7割を超えたのは「福利厚生」「ベンチャー企業」「働き方改革」「非正規労働」「雇用保険」「源泉徴収」「コンプライアンス」「ワーク・ライフ・バランス」「マタハラ」。特に、「ベンチャー企業」「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」は社会人20～30代を上回り、関心の高さがうかがえた。一方で「春闘」「連結決算」「ペイオフ」「テレワーク」は社会人（40～60代）より20%以上低かった。
- 高校生では、【ベンチャー企業】【働き方改革】【福利厚生】【雇用保険】が70%以上、【非正規労働】も67.5%と高い。

	全体	高校生	大学生	社会人 (20～30代)	社会人 (40～60代)
福利厚生	84.7	71.8	87.0	90.1	99.0
雇用保険	82.3	70.9	81.7	90.4	97.1
ベンチャー企業	81.0	72.6	86.0	76.5	91.2
働き方改革	79.7	72.0	84.5	78.0	85.6
非正規労働	78.0	67.5	84.1	73.8	89.4
源泉徴収	73.4	56.0	74.9	84.5	91.3
マタハラ	71.5	57.4	72.5	87.1	80.8
コンプライアンス	71.0	57.8	73.3	75.0	87.6
ワーキングプア	64.0	51.0	68.6	63.7	79.6
ワーク・ライフ・バランス	60.9	51.0	72.9	53.9	62.1
ダイバーシティー	58.0	55.0	61.8	56.0	57.7
春闘	51.1	38.2	40.1	57.3	90.4
裁量労働制	50.2	37.1	53.6	48.0	69.9
ペイオフ	45.5	40.3	37.7	48.5	67.3
テレワーク	44.3	38.1	35.3	55.0	63.5
M&A	41.5	32.8	39.1	48.0	55.8
連結決算	36.6	28.9	31.4	32.4	66.0
PDCAサイクル	36.1	21.1	50.0	43.3	30.5
BtoB	30.5	19.0	40.1	35.6	27.9
ステークホルダー	20.8	12.8	22.2	26.7	26.9
ミッシングワーカー	15.9	13.1	18.8	13.5	18.1

※数値は語彙の熟知度(%)。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-10.話す・聞く・書くときの意識と語彙力

■「話す」「聞く」「書く」の各場面で意識していることを尋ねた結果と「語彙力」との関連を見たところ、「語彙力」が高いグループのほうが、話す・聞く・書くいずれの場面についても、「あてはまる」と答える割合が高かった。特に「書く」場面の「文章を書いたら、読み直し、読み手にとってわかりやすい内容に修正しようとする」「文章を書くときは、相手や場面に合わせて適切な言葉や表現を選ぶようにしている」等の項目で差が大きい。相手への伝え方を意識して文章を書く経験が、語彙力を伸ばすことにつながる可能性があると考えられる。

		高校生			大学生			社会人(20・30代)			社会人(40～60代)		
		語彙力 低	語彙力 高	差分	語彙力 低	語彙力 高	差分	語彙力 低	語彙力 高	差分	語彙力 低	語彙力 高	差分
人数		286	284		317	313		152	147		155	157	
話す 姿勢	人と話をするとき、相手にわかりやすい言葉で話すようにしている。	68.5	77.8	9.3	77.3	87.9	10.6	68.4	85.7	17.3	81.9	91.7	9.8
	人と話をするとき、相手や場面に合わせて話し方や使う言葉を変えている。	80.1	89.8	9.7	83.9	93.9	10.0	76.3	91.2	14.8	75.5	88.5	13.1
	相手に自分の話が伝わっているか、気にかけてながら話している。	62.2	77.1	14.9	80.1	92.7	12.5	72.4	85.0	12.7	79.4	84.7	5.4
聞く 姿勢	話を聞くときは、相手の言葉をさえぎらないで聞くようにしている。	85.7	94.7	9.1	84.9	90.7	5.9	80.3	87.8	7.5	84.5	87.9	3.4
	話を聞くときは、相手が話しやすいように、うなずいたりあいづちを打ったりしながら聞くようにしている。	82.5	94.4	11.8	89.0	93.3	4.3	86.8	88.4	1.6	90.3	94.9	4.6
	話を聞いていて、聞き取れないことや意味がわからないことがあったら、聞き返して確認するようにしている。	66.8	79.9	13.1	74.4	83.4	8.9	71.7	79.6	7.9	81.3	86.6	5.3
	話を聞くとき、相手の話の要点をつかむことを意識している。	58.7	78.9	20.1	62.8	84.7	21.9	66.4	81.6	15.2	76.1	94.3	18.1
書く 姿勢	(小論文やレポートなどの)文章を書く際には、短い字数で簡潔な表現にしようとしている。	58.0	84.5	26.5	63.1	79.2	16.1	50.7	83.0	32.3	56.8	79.6	22.8
	文章を書くときに、同じ言葉の繰り返しにならないように、いろいろな表現を使おうとしている。	52.8	84.2	31.4	75.4	91.7	16.3	53.9	84.4	30.4	61.3	82.8	21.5
	文章を書いたら、読み直し、読み手にとってわかりやすい内容に修正しようとする。	52.1	82.4	30.3	65.3	89.1	23.8	65.8	86.4	20.6	73.5	89.8	16.3
	文章を書くときは、相手や場面に合わせて適切な言葉や表現を選ぶようにしている。	62.9	85.2	22.3	77.0	91.7	14.7	63.8	89.1	25.3	65.2	89.8	24.6

※語彙力が高い順に、各属性の上位約30%を「語彙力が高い群」、低い順に下位30%を「語彙力が低い群」として抽出し、群の傾向を比較した。
 ※数値は当該設問に「とてもあてはまる」「まああてはまる」と答えた人の割合。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-11. 学校で長い文章を書く機会と語彙力

■高校生・大学生では、学校で作文や小論文、レポートなどの長い文章を書く機会が多い人ほど「語彙力」が高い傾向が見られ、手紙や日記など私的に長い文章を書く機会と比べても差が大きい。私的に文章を書く場合と比べ、学校で文章を書く場面では、よりフォーマルな文章が求められることが多く、相手や目的を意識して言葉を選んで書く必要があることが影響していると推察される。

	高校生						大学生					
	学校で長い文章（作文、小論文、レポートなど）を書く。			学校以外で長い文章（手紙、日記、メール、ブログなど）を書く。			学校で長い文章（作文、小論文、レポートなど）を書く。			学校以外で長い文章（手紙、日記、メール、ブログなど）を書く。		
	する	しない	差	する	しない	差	する	しない	差	する	しない	差
人数	802	166		506	462		949	81		608	422	
語彙力 (%)	57.8	43.7	14.1	58.5	52.0	6.5	66.8	54.0	12.8	68.7	61.6	7.1

■学校で「書く」ことに関してどのような指導を受けているかと「語彙力」との関連を見たところ、高校生・大学生とも、「学校に提出し、評価（添削）された文章が返ってきたら内容の見直しをする」「書いた文章をみんなの前で発表したり、クラスメイトと相互に評価しあったりする機会がある」など、特に文章を書いた後の指導について、「語彙力」が高いグループと低いグループの差が大きかった。文章を書いたところで終わりとせず、他者からの評価を受けることや、評価を受けるだけでなく、自ら振り返って主体的に見直しをすることが重要であると考えられる。

問 学校の授業や宿題（課題）で、作文や小論文などの長い文章を書くとき、どのようなことをしますか。あてはまるものを選んでください。	高校生			大学生		
	語彙力 高	語彙力 低	差	語彙力 高	語彙力 低	差
人数	262	207		298	274	
文章を書く前に、先生から書く内容や書く構成についての指導がある。	77.1	70.5	6.6	63.1	66.8	-3.7
文章を書く前に、先生から、どういう観点で評価・採点するかあらかじめ説明がある。	60.7	61.4	-0.7	64.4	63.1	1.3
文章を書いたら、書いた文章を学校に提出する。	91.2	90.8	0.4	89.9	86.9	3.1
書いた文章を学校に提出したら、評価（・添削）して返してくれる。	81.7	72.0	9.7	50.0	45.3	4.7
学校に提出し、評価（添削）された文章が返ってきたら、内容の見直しをする。	65.6	46.9	18.8	51.7	43.8	7.9
書いた文章をみんなの前で発表したり、クラスメイトと相互に評価しあったりする機会がある。	55.7	41.1	14.7	53.0	39.1	14.0

※数値は当該設問に「よくある」「ときどきある」と答えた人の割合。

※「語彙力高」グループは「語彙力」が高い順に上位約30%、「語彙力低」グループは「語彙力」が低い順に下位約30%を抽出。

※数値は、小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

2-13. 語彙力と目的や相手、場面に応じて言い換える力 19

■言葉を、「目的や場面、相手に応じて適切な表現に言い換えられるか」を問うた設問の正答率（以下、「言い換える力」と「語彙力」との関連を見たところ、「語彙力」が高いグループのほうが「言い換える力」が高いことがわかった。言葉のニュアンスや使用される場面の微妙な違いをふまえて言葉を選ぶためには、土台として語彙を幅広く身につけていることが重要であると考えられる。

	全体			高校生			大学生			社会人20・30代			社会人40～60代		
	語彙力 高	語彙力 低	差分	語彙力 高	語彙力 低	差分	語彙力 高	語彙力 低	差分	語彙力 高	語彙力 低	差分	語彙力 高	語彙力 低	差分
人数	915	906		284	286		313	317		147	152		157	155	
言い換え問題 正答率(%)	80.5	63.1	17.4	76.4	61.9	14.5	81.5	64.9	16.6	82.4	62.3	20.1	83.5	66.1	17.4

※数値は、「言い換える力」を問うた設問28問の平均正答率。小数点以下2桁目を四捨五入して計算。

※「語彙力高」グループは「語彙力」が高い順に上位約30%、「語彙力低」グループは「語彙力」が低い順に下位約30%を抽出。

※設問は下記のとおり。

設問文「下線部を、【 】で示した場面に合うようにより適切に言い換えた表現として最も適当なものを、

①～④のうちから一つ選んでください。」

出題例

「【メールの一部分】11月の第1週の週末に文化祭をしますので、ぜひ、いらっしゃってください。」

選択肢①開催します ②実践します ③実行します ④開演します